

見直しの方向性（案）

- **施設のコンセプト**

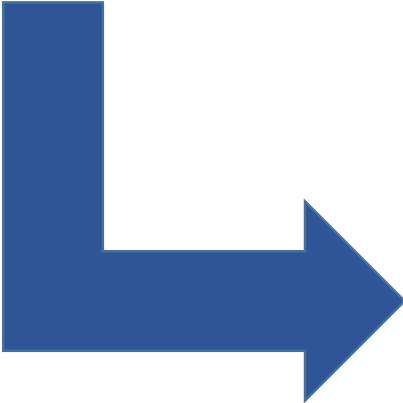
- **「① 武道競技の振興・競技力向上に寄与する施設」に特化**

※ 弓道場・相撲場は、基本計画どおり既存施設に必要な改修等を実施。

- **機能及び規模**

- **① 武道競技の振興・競技力向上**

- 富山県の武道の拠点となる施設
- 武道競技の公式大会が開催可能な施設
- 日常の稽古や指導者講習会、研修会で利用しやすい施設

- 
- **概ね理解が得られたものと認識**
 - **「武道以外のスポーツにも対応できるようにしてほしい」とのご意見もいただいた。**

見直しの方向性（案）

立地場所を検討

■建設費の削減かつ令和9年度中の開館

- 単層構造で建設可能な広さの土地で検討
- 用地取得に時間を要しない県有地で検討

■駐車場の確保

- 敷地内に駐車場が確保できる土地で検討



概ね理解が得られたものと認識

コンセプト、機能・規模

- 利用者にとって使いやすい施設となるよう議論を進め、関係者から意見を伺い集約を図っていくべき。
- 主道場については、なるべく幅広いスポーツに活用できるようにすることを検討してもよいのではないか。

開館時期

- 令和9年度中の開館を目指すのであれば、検討委員会での議論を踏まえ、基本計画を早急に見直す必要がある。
- 武道の殿堂として、必要な機能を備えた県民が誇れる武道館となるよう、予定通り令和9年度中の完成を目指して進めていくべき。

建設候補地

- 平素の稽古や大会参加者の実態を踏まえた交通の利便性、駐車場や清閑な環境などを考慮すると、県総合運動公園に建設するのがふさわしい。
- 大会の開催も大事だが普段使いを考えることも重要。五福は、路面電車やバスの便が良い。公共交通を活用したまちづくりが重要。

その他

- 公共交通の活性化も考えながら、場所の選定を。
- 人口規模を勘案し、ダウンサイジングすべき。 P F I方式の導入も、前提条件が大きく変化してきており、見直すべき。
- 県カーボンニュートラル戦略の「県庁の率先行動」を踏まえ、新たな基本計画では、原則ZEB Ready相当以上とする姿勢を明確に示すことが必要。

- 施設のコンセプト、機能や規模、また、令和9年度中の開館を目指すことについては、概ね理解が得られたものと認識。
- 建設候補地については、「五福公園」「県総合運動公園」それぞれを推す意見があった。
- 「公共交通の利便性」、「民間活力の導入」、「環境への配慮」に関する意見があった。